

LAST REQUIEM

ラストレクイエム
～ネオゴシックRPG～



シナリオ: 『キボウのドロボウ』

執筆：田中岳人
イラスト：蒼月

トレーラーシート

トレーラー

都会の夜に漂う怪談。

いつからとも、誰からとも知れず囁かれ始めた、奇妙な都市伝説。

それは、手に宝石を掲げた怪人の噂。

その怪人に会おうと、人は生きる気力を失い、夢も希望も奪い去られ、やがては自分が生きているということすら忘れ去ってしまうという。

これは、希望の光が失われる話。

残る妖しいきらめきは、怪人が手にした不思議な宝石の輝き。

その怪人の名こそが――

ラストレクイエム
「キボウのドロボウ」
欲深き死者に永遠の終焉を

シナリオハンドアウト

各PCには以下の設定がつく。セッション開始前に、よくプレイヤーと相談すること。

PC①：アイドルユニットの一人（ユニット名はプレイヤーが考える）

PC②&PC③：ヴァルハラ所属のエージェント

PC④：ヴァルハラ所属の医療関係者あるいは研究者

PC⑤：PC①のユニットの一人あるいは関係者（プロデューサーやマネージャーなど）

ハンドアウト1 (PC①&PC⑤)

サンプルキャラクター：夢追いし夢魔、双弾の吸血鬼
推奨スタイル：指定なし

関連項目：小筒路ノゾミ

キミたちはレイヴンであると同時に、芸能関係者でもある。キミたちと小筒路ノゾミが関わるアイドルユニットは、人気急上昇中だ。テレビ出演も果たし、初の単独スタジアムコンサート

に臨もうとしている。しかしこの大切な時期に、メンバーであるノゾミの様子がおかしい。このままでは、コンサートが失敗に終わってしまうだろう。

ハンドアウト2 (PC②&PC③)

サンプルキャラクター：陣風の爪牙、氷雪の御使い
推奨スタイル：指定なし

関連項目：怪人の都市伝説

キミたちは、パティで活動するレイヴンだ。ある日、キミたちはヴァルハラの本部に呼び出された。埋葬局の稲生光希が切り出した指令は、現在都内で噂されている怪異現象についてだっ

た。謎の怪人が街に出没するというのだ。ヴァルハラはまだ噂レベルの情報しか手にしていない。情報は錯綜しており不確かだ。キミたちが調査し、詳細をあきらかにしなければ。

ハンドアウト3 (PC④)

サンプルキャラクター：機械人形の観察者
推奨スタイル：指定なし

関連項目：オドを吸われた人々

レイヴンであるキミは現在、ヴァルハラの協力機関である大学病院に向向している。おもな目的は、レムレス関連の事件に巻き込まれた人の事後を観察することだった。しかし、状況に

異変が起きた。病院には最近、魂を抜かれたように無気力となり、運ばれてくる人数が増えているという。その原因がオドを失ったことにあると、キミだけが気づいた。

■レギュレーション

- ・使用経験点
- ・必要な神業

経験点0～10点

4個以上（PCが3人の時は3個以上、PCがふたりの時は2個以上）の防御神業。

ほかに《都市伝説》《熱狂》の使用が想定されている。